

みずほCustomer Desk Report 2020/08/06 号 (As of 2020/08/05)

市場營業部 為替營業第二千一ム

【昨日の市況概要】

【昨日の市況概要】				公示仲値	105.63
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	105.63	1.1814	124.76	1.3087	0.7176
SYD-NY High	105.87	1.1905	125.52	1.3160	0.7241
SYD-NY Low	105.33	1.1793	124.66	1.3059	0.7155
NY 5:00 PM	105.60	1.1864	125.27	1.3116	0.7193

NY DOW	27,201.52	373.05	日本2年債	-0.140	0.00bp
NASDAQ	10,998.40	57.23	日本10年債	0.010	0.00bp
S&P	3,327.77	21.26	米国2年債	0.118	0.99bp
日経平均	22,514.85	▲ 58.81	米国5年債	0.222	3.15bp
TOPIX	1,554.71	▲ 0.55	米国10年債	0.549	3.76bp
シカゴ日経先物	22,490.00	▲ 30.00	独10年債	-0.5070	4.40bp
ロンドンFT	6,104.72	68.72	英10年債	0.1285	5.60bp
DAX	12,660.25	59.38	豪10年債	0.8130	▲1.80bp
ハンセン指数	25,102.54	155.91	USDJPY 1M Vol	7.33	0.30%
上海総合	3,377.56	5.88	USDJPY 3M Vol	8.38	0.28%
NY金	2,049.30	28.30	USDJPY 6M Vol	7.98	0.18%
WTI	42.19	0.49	USDJPY 1M 25RR	-1.24	Yen Call Over
CRB指数	148.71	0.79	EURJPY 3M Vol	8.45	0.27%
ドルインデックス	92.87	▲ 0.51	EURJPY 6M Vol	8.49	0.23%

東京	東京時間のドル円は105.63レベルでオープン。海外市場でドルが売られた流れは東京市場でも継続し、一時105.51を付けた。その後も105円台半ばでの推移は続き105.66レベルで海外へ。ドル安の要因としては米金利の低下と金現物価格の上昇が挙げられるがアジア時間の米10年債利回りは0.51%台で横ばい、金現物価格は一段高で、一時1オンス=2,030ドルまで上昇し最高値を更新した。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、105.66レベルでオープン。午後に米7月ADP雇用統計を控えて方向性が出にくく、同じレベルでのみみ合いが続いた。105.74レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3069レベルでオープンし、アジア時間の終盤でポンドが買われた流れを引き継ぎ、上昇。7月サービスPMI確定値が57.0と、改定値の57.1から下方修正されたが、相場への影響は観測されなかった。正午にかけてポンドはじり高となり、1.3141レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は、105円台後半で上値重く推移。米金利の低位推移や金現物価格の上昇を受けてドル全面安の流れ続く中、一時105.51まで下落。その後、原油高・米株高が円売りのサポート材料となり、105.87まで上昇し、105.74レベルでNYオープン。朝方は、今週金曜日発表予定の非農業部門雇用者数の先行指標として注目されている米7月ADP雇用統計の結果が予想を大幅に下回ったことがドル売り材料となり、安値105.33まで下落。しかし、米財務省が来週の3・10・30年債入札を巡り、発行予定額が過去最高の1120億ドルとなることが伝わり米金利が持ち直したことや、10時発表の米7月ISM非製造業景況感指数が予想を上回ったことが意識されたためか、ドル売りの流れが一服し、105.60まで反発。午後は新規材料が乏しい中、米株が上げ幅を拡大する動きを横目に105.67までじりじりと買い戻され、結局、105.60レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.18台で底堅く推移。欧州株の堅調推移を受けて上昇するユーロ円の上昇や、ドル全面安の流れにサポートされ、1.1862まで上昇し、1.1856レベルでNYオープン。朝方は米7月ADP雇用統計の結果が予想下回り、ドル売り圧力が強まる。仕掛け的なユーロの買いもあいまって、一時1.1905まで上昇。しかし、7月31日高値(1.1909)手前で上値が重くなり、じりじりと反落。午後は手掛かり材料が乏しい中、利益確定の売り1.1860近辺まで反落し、結局、1.1864レベルでクローズ。

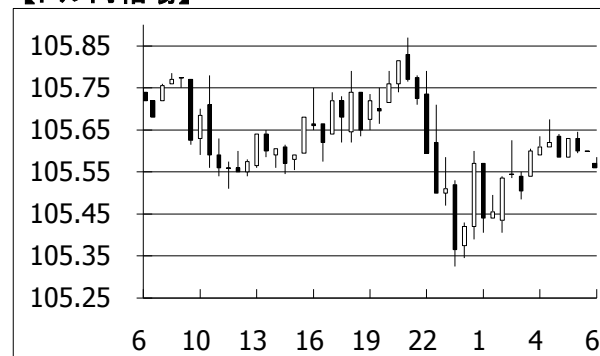
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月5日	18:00	欧 小売売上高(前月比)	6月 5.7%	6.1%
	21:15	米 ADP雇用統計	7月 167k	1200k
	21:30	米 貿易収支	6月 -\$50.7b	-\$50.2b
	23:00	米 ISM非製造業景況指数	7月 58.1	55.0
8月6日	06:00	米 メスター・クリーブランド連銀総裁「米経済は財政面から一層多くの支援が必要となる」		

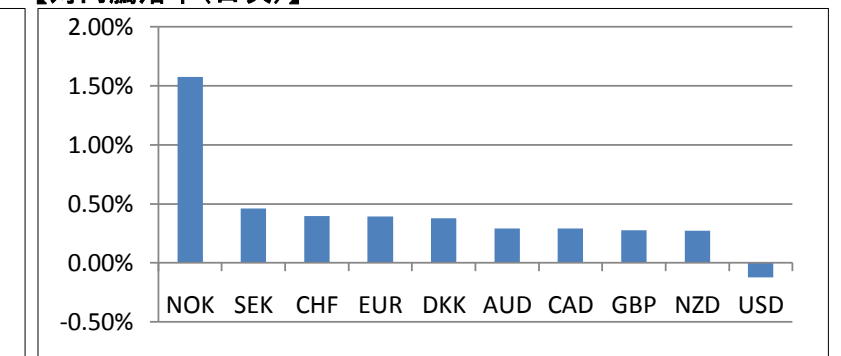
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月6日	15:00	独 製造業受注(前月比)	6月 10.1%	10.4%
	15:00	英 BOE政策金利	- 0.1%	0.1%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	1-Aug 1400k	1434k
	23:00	米 カプラン・ダラス連銀総裁 講演	- -	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【ドル/円相場について】

米金利の低下や金現物価格の上昇を受けドルの全面安の流れの中、米7月ADP雇用統計の結果が予想以上に下回ったことを受け、ドル売りがさらに強まり一時105.33円まで下落。その後は徐々に買い戻され、105.60円でクローズ。

本日のドル/円相場は緩やかにドルが下落する展開を予想。主要経済指標等新規の取引材料はないものの、新型コロナウイルス対策をめぐる米国議会での協議難航や米金利の低下傾向を受け、ドル売り地合が継続すると予想。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 鈴木・上遠野 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐		
ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア		
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	松本	大谷	大庭	逸見	木村		ブル	ベア
ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア		6	14